



議会だより

# うんな



## もくじ

- 閉会中も委員会調査活動！ P 1
- 委員会付託で議案質疑活発化 P 3
- 審議結果一覧 P 4
- 一般質問 9人が20件の質問を行う P 5
- 追跡 どこまで進んだ？図書館づくり P 11
- 広報委員会ホームページ開設 P 13
- 編集後記 P 13

### シリーズ各字の自慢（第7回・瀬良垣）

#### 豊年祭（100年余の歴史を誇る伝統芸能）

旧暦の八月十五夜に公民館野外特設ステージで行われる豊年祭は、二才団により二才頭（男性満38歳）を中心に運営される。

豊年祭の歴史は古く、明治37年筆写の久志の若按司（組踊り）の台本が現在も保存され、この頃にはすでに二才団による豊年祭が行われていた。

開催については、旧暦の7月20日の二才団・二十日摺りにより豊年祭を行うか否かを話し合う。

瀬良垣の豊年祭は、単に演舞を演じるだけでなく、若者が二才団組織を通して、地域を担う将来の人材育成の場としての役割をもっている。

（表紙写真・記事担当委員 宮崎）



情熱の歌人  
うんなナビ



# 閉会中も委員会調査活動!

## 総務財政文教委員会 所管事務調査検討

20年6月、委員会の中で所管事務調査について検討。

委員からは、下水道の予算の推移・図書館のこれからの進め方・中央公民館・社会福祉協議会の問題点・中学校統合・市町村合併と財政状況・指定管理者などが調査項目として提案されました。

その結果、中学校統合について調査することにしました。

そして、具体的項目を決め、その項目ごとに担当委員が決まりました。

### ①進学について

當山・糸数 委員

### ②部活について

長嶺 委員

### ③財政面について

植田 委員

### ④生活指導について

長浜・仲田 委員

### ⑤人間形成について

植田 委員

## 基地問題対策委員会 キャンプハンセン日米共同 使用受け入れを調査・報告



▲中学校統合について担当委員で村内5校を調査

平成19年12月12日村長の出席を求め委員会を開催。

### 村長の説明

本件は、平成19年5月1日の米軍再編最終合意の発表時点では、共同使用の趣旨が見えず、三連協としては負担増になること。村議会の反対決議などもあり反対を表

明した。

その後、防衛省から自衛隊の訓練及び再編交付金の説明があり、

その他に三町村永年の懸案となっている、緊急指令機能を備えた総合消防施設の整備に対し協力する旨の説明。

また、村単独の要望として、火葬葬祭場・防災無線の整備等を含め、事業採択を国に対し強く申し入れていくこと等について総合的に検討したところ、苦渋の選択ではあったが共同使用を受け入れることにした。

### 質問

地域への説明が必要でないか。

### 答弁

区長会の席で説明はしてあるが、地域の意向が大切であり、地元から要望があれば出向く。

### 質問

再編交付金の交付期間について。

基地がある間、常にもらえるような体制作りをし、そのことを国に申し入れていくが、まだ不確定な部分がある。

平成20年6月20日、瀬良垣区長に出席を求め委員会を開催。

区長の説明では、村長・沖縄防衛局からの説明があったこと、その経緯、区としての対応などの説明を受けました。

委員から、行政委員会、総会での反対の声は無かったかとの質問に、無かったとの説明でした。

地元からは、同じ施設を使用するといえ訓練の回数が増え地域に負担を強いることになる、行政にはその事も十分配慮して欲しいとの要望がありました。

また、正・副委員長で、訓練場の近隣の安富祖・太田・恩納の3区長に地域の声はどうなのか聞いたところ、特に問題ない、ただし早朝の訓練は中止すべきとの意見もあった。

## 経済建設民生委員会 ハンセン病問題基本法について

●陳情第6号「ハンセン病問題基本法」制定等を求める意見書の決議の要請についての陳情が提出される。

●経済建設民生委員会（委員長・金城弘）において提出された陳情第6号を審査した。

●ハンセン病療養所についてより深く調査を行う必要があるとして、継続審査とした。

### 平成20年3月7日 定例議会

●経済建設民生委員、事務局職員合計十一名が参加して名護市の国立療養所沖縄愛楽園を訪問した。

●陳情者である自治会長の小底秀雄氏より、現在のハンセン病患者及び施設の状態について説明をうけ、施設内を見学した。

### 5月12日 現地視察

## 「ハンセン病問題基本法」とは……

- 過去のハンセン病政策による被害の現状回復（国の責務として）
- ハンセン病に対する差別・偏見の除去並びにハンセン病患者であった者及びその家族の名誉の回復。
- 入所者等がその居住するハンセン病療養所であつても一人になつても社会の中で生活するのと遜色のない生活及び医療が保障され、安心して暮らせるようにすると共に、地域社会においてハンセン病患者が開かれた役割を果たすこと。
- ハンセン病患者であつた者が社会に復帰することを支援し、かつ、社会内で生活することを終生にわたって援助すること。

### 6月27日 定例議会

●6月定例議会本会議において、「ハンセン病問題基本法」制定等を求める意見書の決議の要請について継続審査の結果を委員長が報告した。



▲伊佐副自治会長の案内で園内を視察

### 6月18日 委員会開催

●現地の状況や、職員の生活、高齢になる入所者の寂寥感の解消のためにも、恩納村議会として陳情を採択し、意見書を提出する方向で進む。しかし6月11日の法制定によって陳情者の願意が叶ったとして、採択のみと決した。

### 6月11日

●ハンセン病問題基本法が参議院本会議において可決、成立した。現行の「らい予防法の廃止に関する法律」は廃止され、診療所での地域住民の診療が可能になる。

（記事執筆委員 宮崎）



▲12月の委員会で受け入れについて村長説明

（記事執筆委員 又吉）



### 議案等の審議結果一覧

## 平成20年第4回定例議会

平成20年 6月17日～6月27日

議案番号	件名	結果
議案第36号	恩納村再編交付金基金条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第37号	恩納村附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第38号	平成20年度恩納村一般会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
議案第39号	平成20年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
議案第40号	平成20年度恩納村老人保健特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
議案第41号	平成20年度下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (全会一致)
議案第42号	恩納村手数料徴収条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	原案可決 (全会一致)
議案第43号	恩納村税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	原案可決 (全会一致)
議案第44号	恩納村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて	原案可決 (全会一致)
議案第45号	平成19年度恩納村一般会計補正予算 (第9号) の専決処分につき承認を求めることについて	原案可決 (全会一致)
議案第46号	谷茶多目的交流施設の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第47号	平成20年度恩納村一般会計補正予算 (第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第48号	平成19年度恩納村水道事業会計補正予算 (第5号) の専決処分につき承認を求めることについて	原案可決 (全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意 (全会一致)
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意 (全会一致)
委発第5号	09年度政府教育予算の拡充を求める意見書について	原案可決 (全会一致)
報告第3号	平成19年度恩納村繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第4号	平成19年度恩納村水道事業会計予算繰越計算書について	報告
	議員派遣の件	決定
	常任委員会の閉会中の所管事務調査の件	決定

### ■ 請願及び陳情に関する取り扱いについて

平成20年 2月20日～5月30日

番号・受付日	件名	処理結果
陳情第 6号 2月20日	「ハンセン病問題基本法」制定を求める意見書の決議の要請	経済建設民生委員会へ付託採択 (第4回定例会)
陳情第 8号 5月28日	過激な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を占め出す不法な行政指導の改善を求める意見書	資料配布 (第4回定例会)
陳情第 9号 5月30日	09年度政府教育予算の拡充を求める意見書採択に関する陳情	総務財政文教委員会へ付託採択 (第4回定例会)

# 委員会付託で議案質疑活発化

自衛隊のキャンプハンセン共同使用の受け入れに伴う再編交付金の予定額は、平成19年度から28年度までの10年間で3億6,404万8千円が入ってくるようになっていきます。

再編交付金を基金として運用するには条例制定が必要となりました。議案第36号、『恩納村再編交付金基金条例の制定について』は、6月17日の本会議において総務財政文教委員会に付託されました。

同日、全委員出席のもとに委員会が開催されました。説明員として企画課長、係長に出席を求め審査を行いました。

外間 企画課長  
積み立てられた基金はソフト事業に位置づけ執行する。また、基金条例制定後の執行は

## 再編交付金基金条例制定

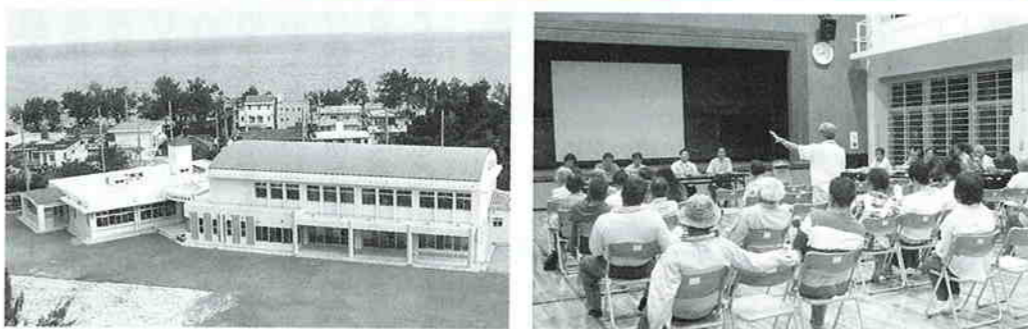
福祉健康課で健康関係の事業計画を立ち上げ、それに基づいて健康づくり事業を実施する予定。現在その実施に向けて担当課と調整している。

各委員からの質疑  
仲田 豊 委員  
基金の利用目的に変更はあるのか。  
外間 企画課長  
5年間は福祉健康課で計画したものを実施する。当山君子 委員  
5年後の事業について計画はあるか。  
外間 企画課長  
これから村民の意向を聞きながら村長とつめていきたい。

また、20年度一般会計予算に、防衛施設再編交付金積立金3,801万2千円が計上され、健康関係の委託料も814万計上されています。

## 谷茶多目的交流施設の指定管理者決まる

議案第46号、『谷茶多目的交流施設の指定管理者について』は、6月17日の本会議において総務財政文教委員会に付託されました。



説明員として建設課長に出席を求め審査を行いました。

委員からの質疑  
長浜善巳 委員  
施設の維持経費について、村の負担はないか。  
古賀 建設課長  
他の指定管理を受けている施設と異なり、公民館建設に係るもので、営利を迫及する施設ではない。村の負担はない。  
長嶺律夫 委員  
指定管理者からの事業報告の作成及び提出について。  
古賀 建設課長  
その区総会資料提出で足りる。

(記事執筆委員 系数)